

大学番号：061

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

和歌山大学 経済学部 経済学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 和歌山大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画課

職名・氏名 企画課長 ミナカタ 南方 ノブユキ 伸之

電話番号 073-457-7059

（夜間） 073-457-7059

F A X 073-457-7020

e-mail kikaku@center.wakayama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

経済学部

＜経済学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 和歌山大学

(2) 大学名 和歌山大学

(3) 大学の位置

〒640-8510
和歌山県和歌山市栄谷930番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事	該当なし		
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・**「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
経済学部 経済学科 学士 (経済学)	4年	300人	10人 3年次	1220人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	300人 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.05倍	
志願者数	1923 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	1450 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	356 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	316 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 316	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 316	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	316 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
合 計	316 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<経済学部 経済学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目 全学共通 教養科目	「いのち」と「かたち」のフィロソフィア	1・2・3・4前又は後		2								兼4	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	「学問」と私1	1・2・3・4前又は後		2			3	1				兼9	※演習 オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	「学問」と私2	1・2・3・4前又は後		2								兼2	※演習 オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	「教養の森」ゼミナール8	1・2・3・4前又は後		2			1					兼56	オムニバス ※演習—教育カリキュラムの見直しにより担当教員変更(28)
	「教養の森」ゼミナール9	1・2・3・4前又は後		2			1					兼56	オムニバス ※演習—教育カリキュラムの見直しにより担当教員変更(28)
	21世紀KUMAGUSU学	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	21世紀サイエンス論	1・2・3・4前又は後		2								兼4	オムニバス
	21世紀ファッション学	1・2・3・4前又は後		2								兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	21世紀ミュージアム学	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	21世紀大学論	1・2・3・4前又は後		2								兼3	オムニバス
	21世紀文学論	1・2・3・4前又は後		2					1			兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	21世紀倫理学	1・2・3・4前又は後		2								兼3	オムニバス
	ASEANと日本	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	JAPAN STUDY1	1・2・3・4前又は後		2								兼21	教育カリキュラムの見直しにより担当教員変更(28)
	JAPAN STUDY2	1・2・3・4前又は後		2								兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	キャリアデザインを考える	2前又は後		2					1			兼1	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	グローバル起業論	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	ことばと文化	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	ソフトスキル論	1前又は後		2								兼3	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	ミュージアムで学ぶ	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	ミュージアムを使う	1・2・3・4前又は後		2								兼1	※演習
	ミュージアムを創る	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	リーダーシップ・チームワーク実習	1・2・3・4前又は後		2				1				兼1	※講義 オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	わかやまの先人たち	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	わかやまを学ぶ	1・2・3・4前又は後		2					1			兼43	オムニバス 教育カリキュラムの見直しにより担当教員変更
	宇宙科学	1・2・3・4前又は後		2								兼42	オムニバス 教育カリキュラムの見直しにより担当教員変更
	英語の歴史	1・2・3・4前又は後		2				1				兼1	
	海外語学・社会演習 A	1・2・3・4前又は後		2				1				兼1	集中※講義 オムニバス
	海外語学・社会演習 B	1・2・3・4前又は後		2								兼1	集中※講義 教育カリキュラムの見直しにより担当教員変更(28)
	海外語学・社会演習 C	1・2・3・4前又は後		2								兼2	集中※講義・実習 オムニバス
	海外語学・社会演習 D	1・2・3・4前又は後		1				1				兼1	※講義—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	海外留学入門	1・2・3・4前又は後		2					1			兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	外国語としての日本語を学ぶ	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	外国文学	1・2・3・4前又は後		2								兼3	オムニバス
	学生生活の危機管理	1・2・3・4前又は後		2					1			兼1	オムニバス
	観光と色彩	1・2・3・4前又は後		2								兼1	※演習
	観光と地域の活性	1・2・3・4前又は後		2								兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	基礎協働演習	1前		2								兼5	※講義 オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	紀州郷土学2C	1・2・3・4前又は後		2				1	1			兼2	オムニバス 教育カリキュラムの見直しにより名称・担当教員を変更 (28)
	紀州郷土学2A	1・2・3・4前又は後		2								兼5	オムニバス 授業内容の見直しにより名称・担当教員を変更 (28)
	紀州郷土学2D	1・2・3・4前又は後		2								兼2	
	紀州郷土学2B	1・2・3・4前又は後		2								兼5	
	記憶力と認知力	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	教育学概論	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	教育学総論	1・2・3・4前又は後		2								兼1	
	熊野スタディーズ	1・2・3・4前又は後		2								兼2	オムニバス
	熊野フィールド体験 A	1・2・3・4前又は後		2					1			兼3	集中※講義 オムニバス 教育カリキュラムの見直しにより担当教員変更(28)
	熊野フィールド体験 B	1・2・3・4前又は後		2					1			兼4	
	養親と日本人	1・2・3・4前又は後		2								兼3	集中※講義 オムニバス
	健康とスポーツの科学	1・2・3・4前又は後		2						1		兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	現代の宗教学	1・2・3・4前又は後		2					1			兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	現代健康とスポーツ論 C	1・2・3・4前又は後		2								兼2	オムニバス 教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
現代日本の表現	1・2・3・4前又は後		2								兼1		
言語学	1・2・3・4前又は後		2					1			兼1		
考古学	1・2・3・4前又は後		2								兼1	※演習	
国際化時代の文化と思想	1・2・3・4前又は後		2					2			兼54	オムニバス	
国際開発論	1・2・3・4前又は後		2								兼1	※演習	
国際協力論	1・2・3・4前又は後		2								兼1	※演習	
市民活動の歴史と課題	1・2・3・4前又は後		2						1		兼1	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
自然科学の叢書	1・2・3・4前又は後		2								兼3	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
自然災害と防災・減災	1・2・3・4前又は後		2								兼87	オムニバス 教育カリキュラムの見直しにより名称・担当教員変更(28)	
自然災害と防災減災	1・2・3・4前又は後		2								兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
社会科学方法論	1・2・3・4前又は後		2					1			兼1	※演習—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
社会哲学	1・2・3・4前又は後		2								兼3	オムニバス	
障がい学生支援概論	1・2・3・4前又は後		2								兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
食と健康	1・2・3・4前又は後		2								兼1		
心理学概論	1・2・3・4前又は後		2								兼1		
心理学総論	1・2・3・4前又は後		2								兼1		
身の回りのデジタル機器のしくみ	1・2・3・4前又は後		2								兼6	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
人文地理学	1・2・3・4前又は後		2								兼1		
世界遺産から考えるアジアの未来	1・2・3・4前又は後		2								兼1		
生活を創る	1・2・3・4前又は後		2								兼5	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	

教養科目	西洋美術史	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	大学生の読み書き	1・2・3・4前又は後	2			3		兼1	※演習 オムニバス	
	地域づくり概論	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	地域づくり戦略論B	1・2・3・4前又は後	2					兼1	※実習	
	地域協働演習	1・2・3・4前又は後	2					兼3	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
	わかやま地域図書館論	1・2・3・4前又は後	2					兼1	教育カリキュラムの見直しにより科目名変更 (28)	
	地域暮らしの安全学D	1・2・3・4前又は後	2					兼6	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
	地域暮らしの健康学A	1・2・3・4前又は後	2		2			兼1	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
	地球学	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	地図で地域をみる—発信する	1・2・3・4前又は後	2				1	兼2	オムニバス—教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
	哲学	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	日本の文化と国際交流	1・2・3・4前又は後	2					兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
	日本古典文学	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	日本国憲法	1・2・3・4前又は後	2		1			兼1		
	日本事情	1・2・3・4前又は後	2					兼1	※演習	
	日本美術史	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	日本文化と入門ビジネスジャパニーズ1	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	日本文化と入門ビジネスジャパニーズ2	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	わかやま農村技術論	1・2・3・4前又は後	2					兼1	教育カリキュラムの見直しにより科目名変更 (28)	
	農村の仕事と技術の魅力	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	民俗芸能論	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	歴史学	1・2・3・4前又は後	2					兼1		
	和歌山企業トップ経営論	1・2・3・4前又は後	2					兼2	オムニバス	
	漱石と大塚	1・2・3・4前又は後	2					兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
	自主演習A	1前	1	23	25	26	1	1	兼225	全教員が担当可。教員数の変化により変更 (28)
	自主演習B	1後	1	23	25	26	1	1	兼225	全教員が担当可。教員数の変化により変更 (28)
	自主演習C	2前	1	23	25	26	1	1	兼225	全教員が担当可。教員数の変化により変更 (28)
	自主演習D	2後	1	23	25	26	1	1	兼225	全教員が担当可。教員数の変化により変更 (28)
	自主演習E	3前	1	23	25	26	1	1	兼225	全教員が担当可。教員数の変化により変更 (28)
	自主演習F	3後	1	23	25	26	1	1	兼225	全教員が担当可。教員数の変化により変更 (28)
	自主演習G	4前	1	23	25	26	1	1	兼225	全教員が担当可。教員数の変化により変更 (28)
	自主演習H	4後	1	23	25	26	1	1	兼225	全教員が担当可。教員数の変化により変更 (28)
	数学と暗号	1・2・3・4前又は後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	「恋愛映画」を哲学する	1・2・3・4前又は後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	「恐怖映画」を哲学する	1・2・3・4前又は後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	中国文化史	1・2・3・4前又は後	2		1				兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	「教養の森」ゼミナール (古典講読1)	1・2・3・4前又は後	2						兼1	※演習 教育カリキュラムの変更 (28)
	わかやま未来学	1・2・3・4前又は後	2	2	1	2			兼5	オムニバス 教育カリキュラムの変更 (28)
	わかやま海洋体験実習	1・2・3・4前又は後	2	2	1	1			兼1	集中※講義 オムニバス 教育カリキュラムの変更 (28)
	地域協働セミナー	1・2・3・4前又は後	2	2	1	1			兼5	オムニバス 教育カリキュラムの変更 (28)
	海外語学・社会演習F	1・2・3・4前又は後	2						兼1	※講義・演習 教育カリキュラムの変更 (28)
	地域暮らしの健康学B	1・2・3・4前又は後	2		1				兼2	教育カリキュラムの変更 (28)
	地域暮らしの健康学C	1・2・3・4前又は後	2		1				兼1	オムニバス 教育カリキュラムの変更 (28)
	マスツーリズムによる地域活性化	1・2・3・4前又は後	2						兼1	※演習 教育カリキュラムの変更 (28)
	文学テキストで読む社会科学—都市・国家・人間—	1・2・3・4前又は後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	英語で読む地域と景観	1・2・3・4前又は後	2				1		兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	データで地域を考える—課題発見と活動支援のためのデータ活用—	1・2・3・4前又は後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	教養としての政治学	1・2・3・4前又は後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	博物館資料保存論	1・2・3前又は後	2						兼3	教育カリキュラムの変更 (28)
	博物館資料論	1・2・3前又は後	2						兼4	教育カリキュラムの変更 (28)
	博物館展示論	2・3通	2						兼1	集中※演習 教育カリキュラムの変更 (28)
	博物館実習 I	3前又は後	2						兼3	オムニバス※演習 教育カリキュラムの変更 (28)
博物館実習 II	4通	1						兼1	※演習 教育カリキュラムの変更 (28)	
ビジュアルコミュニケーション	2・3・4前又は後	2						兼1	※演習 教育カリキュラムの変更 (28)	
英語 I	1前	2	1	1	2			兼5	教員数の変化により変更 (28)	
英語 II	1後	2	1	1	2			兼5	教員数の変化により変更 (28)	
英語 III	2・3前	2	1	1	2			兼6	教員数の変化により変更 (28)	
英語 IV	2・3後	2	1	1	2			兼6	教員数の変化により変更 (28)	
ドイツ語初級 I A	1前	4						兼2		
ドイツ語 A I	2前	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称・担当教員を変更 (28)	
ドイツ語初級 II A	1後	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)	
ドイツ語 A II	2・3後	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)	
ドイツ語初級 I B	1前	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)	
ドイツ語 B I	2前	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)	
ドイツ語初級 I C	1前	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)	
ドイツ語 C I	2前	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)	
ドイツ語 D I	1後	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
ドイツ語初級 II D	1前	4						兼2		
ドイツ語 D II	2前	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称・担当教員変更 (28)	
ハンゲル初級 I	1前	4						兼3		
ハンゲル I B	1後	4						兼1		
ハンゲル I D	1後→2前	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
ハンゲル I E	2前	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)	
ハンゲル初級 II A	1後	4						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称・単位数・担当教員を変更 (28)	
ハンゲル II A	2・3後	4						兼2		
フランス語初級 I A	1前	4		4				兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称・担当教員を変更 (28)	
フランス語 I	1後→2前	4						兼1		
フランス語初級 II	1後	4		4				兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称・担当教員を変更 (28)	
フランス語 II	2・3前又は後	4						兼1		

外国語科目	フランス語Ⅲ	2・3後	2		1				兼1 兼2 兼4 兼3	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (28)
	フランス語初級ⅠB	1前	4							教育カリキュラムの見直しにより名称・担当教員を変更 (28)
	フランス語AⅠ	2前								
	中国語初級Ⅰ	1前	4		1					教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)
	中国語Ⅰ	1後→2前								
	中国語初級Ⅱ	1後	4		1					教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)
	中国語Ⅱ	2→3前又は後								
	中国語会話初級Ⅰ	1後・2前	2						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称・配当年次を変更 (28)
	中国語会話初級									
	中国語会話中級A	2後又は3前	2						兼1	教育カリキュラムの見直しにより名称・配当年次を変更 (28)
	中国語会話中級	2→3後								
	中国語中級A	2前	2		1					教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)
	中国語中級Ⅰ									
	中国語中級B	2・3後	2		1					教育カリキュラムの見直しにより名称変更 (28)
	中国語中級Ⅱ									
	日本語ⅠA1	1前	2						兼1	
	日本語ⅠA2	1前	2						兼1	
	日本語ⅠA3	1前	2						兼1	
	日本語ⅠB1	1前	2						兼1	
	日本語ⅠB2	1前	2						兼1	
	日本語ⅠB3	1前	2						兼1	
	日本語ⅠC1	1後	2						兼1	
	日本語ⅠC2	1後	2						兼1	
	日本語ⅠC3	1後	2						兼1	
	日本語ⅠD1	1後	2						兼1	
	日本語ⅠD2	1後	2						兼1	
	日本語ⅠD3	1後	2						兼1	
	日本語ⅡA1	2前	2						兼1	
	日本語ⅡA2	2前	2						兼1	
	日本語ⅡB1	2前	2						兼1	
	日本語ⅡB2	2前	2						兼1	
	日本語ⅡC1	2・3後	2						兼1	
	日本語ⅡC2	2・3後	2						兼1	
	日本語ⅡD1	2・3後	2						兼1	
	日本語ⅡD2	2・3後	2						兼1	
	ドイツ語中級	2前又は後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	ドイツ語上級	2後・3前	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	フランス語中級	2前又は後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	フランス語上級	2後・3前	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)
	中国語上級	2・3後	2		1					教育カリキュラムの変更 (28)
中国語会話初級Ⅱ	2後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)	
中国語会話上級	3後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)	
ハンガール初級ⅡB	1後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)	
ハンガール中級	2後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (28)	
保健体育科目	保健体育実技A	1前・後	1		1					
	保健体育実技B	1前・後	1		1					
	保健体育実技C	2前	1		1					
	保健体育実技D	2後	1		1					
基礎科目	基礎演習Ⅰ	1前	1		7 19	12 23	1		兼2	共同 教育カリキュラムの見直しにより担当教員を変更 (28)
	基礎演習Ⅱ	1後	1		7 19	12 23	1		兼2	共同 教育カリキュラムの見直しにより担当教員を変更 (28)
	キャリア・デザイン入門Ⅰ	1前	1				1			
	キャリア・デザイン入門Ⅱ	1後	1				1			
	プログラム概説	1前	2		6	1				オムニバス 教育カリキュラムの見直しにより担当教員変更 (28)
	情報基礎演習	1前	2		3 2	1				教育カリキュラムの見直しにより担当教員を変更 (28)
	ラーニング・スキル演習Ⅰ	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため科目追加 (28)
ラーニング・スキル演習Ⅱ	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため科目追加 (28)	
専門必修科目	ミクロ・マクロ経済学入門	1前	2				1			
	統計学入門	1後	2				1			
プログラム科目群 (コア)	ワールドエコノミー	1後	2		1					☆
	Foundations of Finance	2・3前又は後	2		1					◎ 隔年
	International Financial Markets	2・3前又は後	2		1					◎ 隔年
	EU経済論	2・3前又は後	2			1				◎
	比較経済体制論	3・4前又は後	2			1				◎
	International Economics	2・3前又は後	2			1				◎ 隔年
	国際経済学Ⅰ	2・3前又は後	2			1				◎ 隔年
	開発経済学	2・3前又は後	2		1					◎
	現代中国経済論	3・4前又は後	2		1					◎ 隔年
	東アジア経済発展論	3・4前又は後	2		1					◎ 隔年
	現代グローバル経済論	2・3前又は後	2		1					◎ 隔年
	計量経済学入門	2・3後	2			1				◎ 隔年
	経済統計学Ⅰ	2前	2			1				◎
	国際物流論	2・3前又は後	2		1					◎ 隔年
	現代のアメリカ経済政策	2・3前又は後	2			1				◎ 隔年
	Japanese Finance and Economy	3・4前又は後	2		1					隔年
	ロシア・東欧経済論	3・4前又は後	2			1				◎
	経済思想史	2・3前又は後	2			1				◎
	Global Trade Analysis	3・4前又は後	2			1				隔年
	国際経済学Ⅱ	2・3前又は後	2			1				隔年
	マクロ経済学Ⅰ	2前	2		1					◎
	マクロ経済学Ⅱ	2・3前又は後	2		1					◎
	国際金融史Ⅰ	2・3前又は後	2		1					隔年
国際金融史Ⅱ	2・3前又は後	2		1					◎	
金融論Ⅰ	2・3前又は後	2			1				◎	
金融論Ⅱ	2・3前又は後	2			1				◎	

グローバルビジネス&エコノミー	西洋経済史	2・3前又は後	2	1				隔年	
	ミクロ経済学Ⅰ	1後	2		1				
	ミクロ経済学Ⅱ	2前	2		1				
	現代日本経済論 現代経済論	2・3前又は後	2	1				教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)	
	日本経済史	2・3前又は後	2		1			◎	
	交通政策	3・4前又は後	2	1				隔年	
	国際関係論	2・3前又は後	2		1			隔年	
	外国為替論	2・3前又は後	2	1				隔年	
	国際通貨システム論	2・3前又は後	2	1				隔年	
	金融政策	3・4前又は後	2		1			隔年	
	経営学系	Project Management	2・3前又は後	2	1				☆
		グローバル・マネジメント	2・3後	2	1				☆
		International Management	2・3前	2	1				◎
		日本的・リーン生産システム論	3・4前	2	1				◎
		コーポレート・ガバナンス論	3・4前又は後	2	1				◎
		経営学	1前	2	3	2			◎ 共同
		日本の経営論	2・3後	2		1			◎
		経営戦略論	2・3前又は後	2	1				◎
		ソーシャル・ビジネス論	3・4前又は後	2	2				共同
		人的資源管理論	3・4前又は後	2		1			
	マーケティング論	2・3前	2		1				
	情報学系	ソーシャルネットワーク論	3・4前又は後	2					兼1
		経営情報システム論	3・4前又は後	2	1				
		ビジネスモデルデザイン	3・4前又は後	2	1				
	法学系	会社法総論	2前	2		1			
		選択科目	近現代のアジア史	2					兼1 教育カリキュラムの見直しにより配当年次変更(28)
		外国書講読(英)	2後	2	2				
	プログラム科目群(企業分析・評価)	経済学系	Foundations of Finance	2・3前又は後	2	1			☆ 隔年
			International Financial Markets	2・3前又は後	2	1			☆ 隔年
			コーポレート・ファイナンス コーポレートファイナンス	3・4前	2		1		☆ 教育カリキュラムの見直しにより名称変更(28)
			Japanese Finance and Economy	3・4前又は後	2	1			☆◎ 隔年 教育カリキュラムの見直しによりプログラム必修に変更(28)
			計量経済学入門	2・3後	2		1		◎ 隔年
			経済統計学Ⅰ	2前	2		1		◎ 隔年
経済統計学Ⅱ			2・3後	2		1		◎ 隔年	
経済地誌			2・3前又は後	2		1		◎ 隔年	
マクロ経済学Ⅰ			2前	2	1				
マクロ経済学Ⅱ			2・3前又は後	2	1			教育カリキュラムの見直しにより、プログラムに追加(28)	
経済数学			1前後	2		1		◎ 教育カリキュラムの見直しにより配当年次変更(28)	
ゲーム理論			2・3前又は後	2		1		◎ 隔年 教育カリキュラムの見直しによりプログラム選択必修に変更(28)	
産業組織論			2・3前又は後	2		1		隔年	
ミクロ経済学Ⅰ		1後	2		1				
ミクロ経済学Ⅱ		2前	2		1		教育カリキュラムの見直しにより、プログラムに追加(28)		
銀行論Ⅰ		2・3前又は後	2	1			隔年		
銀行論Ⅱ		2・3前又は後	2	1			隔年		
金融論Ⅰ		2・3前又は後	2		1				
金融論Ⅱ		2・3前又は後	2		1				
経営学系		コーポレート・ガバナンス論	3・4前又は後	2	1				◎
		経営戦略論	2・3前又は後	2	1				◎
		グローバル・マネジメント	2・3後	2	1				◎
		技術経営	3・4前	2	1				◎
	日本的・リーン生産システム論	3・4前	2	1				◎	
	経営管理論	2・3前	2	1					
	人的資源管理論	3・4前又は後	2		1				
組織行動論	2・3前又は後	2		1					
会計学系	商業簿記Ⅰ	1前	2		1			◎	
	商業簿記Ⅱ	1後	2		1			◎	
	管理会計論Ⅰ	3・4前	2		1			◎	
	管理会計論Ⅱ	3・4後	2		1			◎	
	財務会計論Ⅰ	2・3前	2		1			◎	
	財務会計論Ⅱ	2・3後	2		1			◎	
	原価計算論Ⅰ	2・3前	2		1			◎	
	原価計算論Ⅱ	2・3後	2		1			◎	
	工業簿記Ⅰ	2・3前	2		1				
	工業簿記Ⅱ	2・3後	2		1				
	会計学原理Ⅰ	3・4前	2	1					
	会計学原理Ⅱ	3・4後	2	1					
商業簿記Ⅲ	2・3前	2		1			◎ 教育カリキュラムの見直しによりプログラム選択必修に変更(28)		
商業簿記Ⅳ	2・3後	2		1			◎ 教育カリキュラムの見直しによりプログラム選択必修に変更(28)		
法学系	会社法各論〔株式等〕	2・3前又は後	2		1			☆ 隔年	
	会社法各論〔機関等〕	2・3前又は後	2		1			☆ 隔年	
	会社法各論〔設立・組織再編等〕	2・3前又は後	2		1			☆ 隔年	
	法人税法	2・3後	2	1				◎ 隔年	
	会社法総論	2前	2		1			◎	
	租税法概論	2・3前	2	1					
	法律学概論	1前	2	1	2	1		共同	
民法〔総則〕	1後	2		1					
選択科目	外国書講読(英)	2後	2	2					
経済学系	地域産業論	3・4前又は後	2		1			隔年	
	経営戦略論	2・3前又は後	2	1				☆	
	マーケティング論	2・3前	2		1			☆	
	Project Management	2・3前又は後	2	1				◎	
	コーポレート・ガバナンス論	3・4前又は後	2	1				◎	
経営学	1前	2	3	2			◎ 共同		

プログラム科目群（ビジネスデザイン）	経営学系	技術経営	3・4前	2	1					◎
		経営管理論	2・3前	2	1					◎
		企業倫理論	3・4前	2		1				◎
		組織行動論	2・3前又は後	2		1				◎
		商品企画論	2・3後	2		1				◎
		日本的・リーン生産システム論	3・4前	2	1					◎
		グローバル・マネジメント	2・3後	2	1					◎
		イノベーション・マネジメント	3・4前又は後	2	1					◎
		ソーシャル・ビジネス論	3・4前又は後	2	2					◎
		日本の経営論	2・3後	2		1				◎
	人的資源管理論	3・4前又は後	2		1				◎	
	流通システム論	3・4後	2		1				◎	
	経営史	2・3前又は後	2		1				◎	
	中小企業論（ファミリービジネス論）	2・3前又は後	2	1					◎	
	会計学系	管理会計論Ⅰ	3・4前	2		1				◎
		管理会計論Ⅱ	3・4後	2		1				◎
		原価計算論Ⅰ	2・3前	2		1				◎
		原価計算論Ⅱ	2・3後	2		1				◎
工業簿記Ⅰ		2・3前	2		1				◎	
工業簿記Ⅱ		2・3後	2		1				◎	
商業簿記Ⅰ		1前	2		1				◎	
商業簿記Ⅱ		1後	2		1				◎	
商業簿記Ⅲ		2・3前	2		1				◎	
商業簿記Ⅳ		2・3後	2		1				◎	
情報学系	ビジネスモデルデザイン	3・4前又は後	2	1					◎	
	経営数学	2・3前又は後	2	1					◎	
	情報システムデザイン	3・4前又は後	2	1					◎	
	情報マネジメント	3・4前又は後	2		1				◎	
	情報技術	2・3前又は後	2		1				◎	
	経営情報システム論	3・4前又は後	2	1					◎	
	システムと情報	1後	2	1					◎	
	プログラミング	2・3前又は後	2		1				◎	
	ソーシャルネットワーク論	3・4前又は後	2		1				◎	
	データベース	2・3前又は後	2	1					◎	
法律学系	会社法総論	2前	2		1				◎	
	民法〔総則〕	1後	2		1				◎	
選択科目	民法〔親族・相続〕	2・3後	2		1				◎	
	外国書講読（英）	2後	2	2					◎	
経済学系	サービスマネジメント論	2前又は後	2		1				◎	
	ホスピタリティ論	2前又は後	2		1				◎	
	マクロ経済学Ⅰ	2前	2	1					◎	
	ミクロ経済学Ⅰ	1後	2		1				◎	
	コーポレート・ファイナンス	3・4前	2		1				◎	
	コーポレートファイナンス								◎	
	経営学系	経営戦略論	2・3前又は後	2	1					◎
		経営管理論	2・3前	2	1					◎
		日本的・リーン生産システム論	3・4前	2	1					◎
		コーポレート・ガバナンス論	3・4前又は後	2	1					◎
日本の経営論		2・3後	2		1				◎	
人的資源管理論		3・4前又は後	2		1				◎	
マーケティング論		2・3前	2		1				◎	
会計学系		商業簿記Ⅰ	1前	2		1				◎
		商業簿記Ⅱ	1後	2		1				◎
		原価計算論Ⅰ	2・3前	2		1				◎
	原価計算論Ⅱ	2・3後	2		1				◎	
	工業簿記Ⅰ	2・3前	2		1				◎	
	工業簿記Ⅱ	2・3後	2		1				◎	
	会計学原理Ⅰ	3・4前	2	1					◎	
	会計学原理Ⅱ	3・4後	2	1					◎	
	商業簿記Ⅲ	2・3前	2		1				◎	
	商業簿記Ⅳ	2・3後	2		1				◎	
情報学系	管理会計論Ⅰ	3・4前	2		1				◎	
	管理会計論Ⅱ	3・4後	2		1				◎	
	財務会計論Ⅰ	2・3前	2		1				◎	
	財務会計論Ⅱ	2・3後	2		1				◎	
	情報技術	2・3前又は後	2		1				◎	
	システムと情報	1後	2	1					◎	
	ビジネスモデルデザイン	3・4前又は後	2	1					◎	
	法律学系	租税法概論	2・3前	2	1					◎
		消費税法	2・3・4後	2	1					◎
		所得税法	2・3前	2	1					◎
法人税法		2・3後	2	1					◎	
法律学概論		1前	2	1	2	1			◎	
会社法総論		2前	2	1					◎	
民法〔総則〕		1後	2		1				◎	
会社法各論〔株式等〕		2・3前又は後	2		1				◎	
会社法各論〔機関等〕		2・3前又は後	2		1				◎	
商法総則・商行為法		2・3前又は後	2		1				◎	
選択科目	会社法各論〔設立・組織再編等〕	2・3前又は後	2		1				◎	
	金融商品取引法	3・4前又は後	2		1				◎	
	民法〔債権各論〕	2・3後	2		1				◎	
	民法〔債権総論〕	2・3前	2		1				◎	
	民法〔物権〕	2・3前	2		1				◎	
	外国書講読（英）	2後	2	2					◎	
	専門教育科目	政策科学Ⅰ（地域）	1後	2	2	2				◎
		政策科学Ⅱ（公共）	2前	2	1	4				◎
		公益事業論	3・4前	2						◎
		社会政策（雇用と労働）	2・3前又は後	2		1				◎
社会政策（社会保障）		2・3前又は後	2		1				◎	
政策統計解析		2・3前又は後	2	1					◎	
農業政策		2・3前又は後	2						◎	
財政政策総論		2・3前又は後	2		1				◎	
財政政策各論		2・3前又は後	2		1				◎	
交通システム論		2・3前又は後	2		1				◎	
交通政策	3・4前又は後	2		1				◎		

プログラム科目群 (地域公共政策・公益事業)	経済学系	経済地誌	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
		地域産業論	3・4前又は後	2		1				◎	隔年
		地域政策	2・3前又は後	2						◎	隔年
		通商政策	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
		経済政策総論	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
		都市政策	2・3前又は後	2	1					◎	隔年
		コミュニティ交通論	3・4前	2						◎	隔年
		地域防災論	3・4後	2						◎	隔年
		社会保障論	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
		労働経済論	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
		マクロ経済学Ⅰ	2前	2		1				◎	隔年
		マクロ経済学Ⅱ	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
		中心市街地活性化論	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
		産業組織論	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
		ミクロ経済学Ⅰ	1後	2		1				◎	隔年
		ミクロ経済学Ⅱ	2前	2		1				◎	隔年
		経済原論	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
		市場経済論	1後	2		1				◎	隔年
		社会経済学入門	1前	2		1				◎	隔年
		国際物流論	2・3前又は後	2		1				◎	隔年
財政学	2・3前又は後	2						◎	隔年		
自然エネルギー戦略	3・4前又は後	2						◎	隔年		
経営学系	ソーシャル・ビジネス論	3・4前又は後	2	2						◎	共同
	流通システム論	3・4後	2		1					◎	共同
	マーケティング論	2・3前	2		1					◎	共同
	経営戦略論	2・3前又は後	2		1					◎	共同
	グローバル・マネジメント Project Management	2・3後 2・3前又は後	2 2		1 1						◎
情報学系	ソーシャルネットワーク論	3・4前又は後	2							◎	共同
	ビジネスモデルデザイン	3・4前又は後	2		1					◎	共同
法学系	人権保障システム法総論	1後	2		1					◎	共同
	行政学	2・3前	2							◎	共同
	行政作用法	3・4前	2							◎	共同
	行政法総論	2・3前	2							◎	共同
	雇用関係法	2・3・4前又は後	2			1				◎	共同
	雇用政策法	2・3・4前又は後	2			1				◎	共同
	労使関係法	2・3・4前又は後	2			1				◎	共同
	法律学概論	1前	2		1	2	1			◎	共同
	公的扶助法	3・4前又は後	2			1				◎	共同
	社会福祉サービス法	2・3・4前又は後	2			1				◎	共同
	社会保険法	2・3前又は後	2			1				◎	共同
	社会保障法総論	2・3前又は後	2			1				◎	共同
人権保障システム法各論	2・3前	2		1					◎	共同	
選択科目	地域人口論	2・3前又は後	2							◎	共同
	外国書講読 (英)	2後	2		2					◎	共同
プログラム科目群 (サステイナブル・エコノミー)	経済学系	現代日本経済論	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		経済史総論	1後	2		1	1			◎	共同
		社会経済学入門	1前	2		1				◎	共同
		社会思想史	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		EU経済論	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		経済思想史	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		社会保障論	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		東アジア経済発展論	3・4前又は後	2		1				◎	共同
		国際金融史Ⅰ	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		西洋経済史	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		ゲーム理論	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		食料経済	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		市場経済論	1後	2		1				◎	共同
		日本経済史	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		マネーの経済学	1後	2		1				◎	共同
		金融論Ⅰ	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		自然エネルギー戦略	3・4前又は後	2		1				◎	共同
		経済学史Ⅰ	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		経済学史Ⅱ	3・4前又は後	2		1				◎	共同
		社会科学原論	2・4前又は後	2		1				◎	共同
		社会政策 (社会保障)	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		国際経済学Ⅰ	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		現代中国経済論	3・4前又は後	2		1				◎	共同
		現代グローバル経済論	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		マクロ経済学Ⅰ	2前	2		1				◎	共同
		ミクロ経済学Ⅰ	1後	2		1				◎	共同
		経済原論	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		経済統計学Ⅰ	2前	2		1				◎	共同
		財政政策総論	2・3前又は後	2		1				◎	共同
		交通システム論	2・3前又は後	2		1				◎	共同
地域政策	2・3前又は後	2		1				◎	共同		
現代のアメリカ経済政策	2・3前又は後	2		1				◎	共同		
都市政策	2・3前又は後	2		1				◎	共同		
環境政策学	3・4前又は後	2		1				◎	共同		
経営学系	コーポレート・ガバナンス論	3・4前又は後	2		1					◎	共同
	グローバル・マネジメント	2・3後	2		1					◎	共同
	ソーシャル・ビジネス論	3・4前又は後	2	2						◎	共同
	企業倫理論	3・4前	2		1					◎	共同
	経営史	2・3前又は後	2		1					◎	共同
	経営管理論	2・3前	2		1					◎	共同
	日本的経営論	2・3後	2		1					◎	共同
人的資源管理論	3・4前又は後	2		1					◎	共同	
中小企業論 (ファミリービジネス論)	2・3前又は後	2		1					◎	共同	
情報学系	情報システムデザイン	3・4前又は後	2		1					◎	共同
	情報マネジメント	3・4前又は後	2		1					◎	共同
法学系	社会保障法総論	2・3前又は後	2		1					◎	共同
	人権保障システム法総論	1後	2		1					◎	共同
	雇用関係法	2・3・4前又は後	2			1				◎	共同
	雇用政策法	2・3・4前又は後	2			1				◎	共同
社会福祉サービス法	2・3・4前又は後	2		1					◎	共同	

	独占禁止法	3・4前又は後	2		1				隔年
選択科目	地域人口論	2・3前又は後	2						兼1
	森林環境学	2前又は後	2						兼1
	地域環境管理	2前又は後	2						兼1
	外国書講読(英)	2後	2		2				
地域連携	国家基盤づくりに係る土地・家屋の調査	3・4前又は後	2						兼9
	労働行政実務	3・4前又は後	2						兼14
	租税法実務	3・4前又は後	2						兼11
	資本市場の役割と証券投資	3・4前又は後	2						兼13
	コーオプ演習Ⅰ	2・3前又は後	1		2				※実習 集中
	コーオプ演習Ⅱ	2・3前又は後	1		2				※実習 集中
	コーオプ演習Ⅲ	2・3前又は後	1		2				※実習 集中
	コーオプ演習Ⅳ	2・3前又は後	1		2				※実習 集中
地域志向	交通まちづくり調査研究	2・3前又は後	2		1				(地域公共政策・公益事業のみ◎) ※実習 集中
	地域経済演習	2・3前又は後	2		1				(地域公共政策・公益事業のみ◎) ※実習 隔年集中
	地域分析実験演習	2・3前又は後	2			1			(地域公共政策・公益事業のみ◎) ※実習 隔年集中
	地域調査研究	2・3前又は後	2			1			(地域公共政策・公益事業のみ◎) ※実習 隔年集中
	地域自主演習	2・3前又は後	1-8			1			(地域公共政策・公益事業のみ◎) ※実習 隔年集中
	海外調査研究(留学)	2・3前又は後	2-8			1			※実習 集中
地域調査研究(留学)	2・3前又は後	2-8			1			※実習 集中	
キャリア・デザイン科目群	プログラム・キャリア・デザイン	2前	1				1		兼6 オムニバス 兼4 兼1
	ビジネス・キャリア演習Ⅰ	3前	1				1		
	ビジネス・キャリア演習Ⅱ	3後	1				1		
	現代経営実践論-企業・職種研究-	2・3後	2						
	現代社会実践論-キャリアと公務-	2・3後	2			1			
	インターンシップ インターンシップ事前指導 インターンシップと事後指導	2・3後 2前 2後	2 1 1				1		
エキスパート・コース必修専門科目	経営戦略論	2・3前又は後	2		1				兼1 オムニバス 兼2 兼2
	政策科学Ⅰ(地域)	1後	2		2	2			
	ワールドエコノミー	1後	2		1				
	ECユニット演習Ⅰ	2前	2		1	1			
	ECユニット演習Ⅱ	2後	2		1	1			
	ECアグリビジネス論	2・3後	2		2				
	ECアグリビジネス実践論	2・3後	2		2				
ECアグリビジネス実践演習	3・4前	2		2					
エキスパート・コース指定専門科目	海外調査研究(留学)	2・3前又は後	2-8		1				※実習 集中
	地域調査研究(留学)	2・3前又は後	2-8		1				※実習 集中
	マーケティング論	2・3前	2			1			
	ビジネスモデルデザイン	3・4前又は後	2		1				
	政策科学Ⅱ(公共)	2前	2			1	4		オムニバス
	人権保障システム法総論	1後	2		1				
	グローバル・マネジメント	2・3後	2		1				
	Project Management	2・3前又は後	2		1				
	外国書講読(英)	2後	2		2				
	International Management	2・3前	2		1				
	Foundations of Finance	2・3前又は後	2		1				隔年
	International Financial Markets	2・3前又は後	2		1				隔年
International Economics	2・3前又は後	2			1			隔年	
Japanese Finance and Economy	3・4前又は後	2		1				隔年	
Global Trade Analysis	3・4前又は後	2			1			隔年	
専門演習	発展演習	2前	1		19	23			共同
	専門演習Ⅰ	3前	2		19	23			
	専門演習Ⅱ	3後	2		19	23			
卒業研究	卒業研究	4通	4		19	23			
教職科目	職業指導論	2前又は後		2					兼1

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
11	337	1	349	11	337	1	349	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ **履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。**
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	「いのち」と「かたち」のフィロソフィア	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
2	「学問」と私1	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
3	「学問」と私2	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
4	21世紀ファッション学	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
5	21世紀文学論	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
6	JAPAN STUDY2	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
7	キャリアデザインを考える	2	2前又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
8	ソフトスキル論	2	1前又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
9	リーダーシップ・チームワーク実習	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
10	海外語学・社会演習D	1	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
11	海外留学入門	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
12	観光と地域の活性	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
13	基礎協働演習	2	1前	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
14	景観と日本人	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
15	現代の宗教学	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
16	現代健康・スポーツ論S	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
17	市民活動の歴史と課題	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
18	自然科学の散策	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
19	社会科学方法論	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
20	社会哲学	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
21	食と健康	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
22	身の回りのデジタル機器のしくみ	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
23	生活を創る	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
24	地域協働演習	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
25	地域暮らしの安全学D	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
26	地域暮らしの健康学A	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
27	地図で地域をみる・発信する	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
28	日本の文化と国際交流	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
29	漱石と大阪	2	1・2・3・4期又は後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
30	ドイツ語D I	4	1後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
31	ハンゲル I D	4	1後・2前	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
32	ハンゲル I E	4	2前	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
33	フランス語Ⅲ	2	2・3後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

履修手引およびガイダンスにて周知した。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.09}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

該当なし

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千 円	千 円	図 書 購 入 費	千 円	千 円	千 円
	共 同 研 究 費 等	千 円	千 円	設 備 購 入 費	千 円	千 円	千 円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	和歌山大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部							昭和24年度	和歌山市栄谷930	
学校教育教員養成課程	4	165	—	600	学士(教育学)	1.02	平成11年度		
総合教育課程	4	—	—	—	学士(教養学)	—	平成20年度		平成28年度より学生募集停止
経済学部			3年次				昭和24年度	和歌山市栄谷930	
経済学科	4	300	10	300	学士(経済学)	1.06	昭和39年度		
ビジネスマネジメント学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	平成4年度		平成28年度より学生募集停止
市場環境学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	平成8年度		
システム工学部			3年次				平成7年度	和歌山市栄谷930	
システム工学科	4	305	20	610	学士(工学)	1.01	平成27年度		
情報通信システム学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		平成27年度より学生募集停止
光エレクトロニクス学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		
精密物質学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		
環境システム学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		
デザイン情報学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度		
観光学部							平成20年度	和歌山市栄谷930	
観光学科	4	120	—	120	学士(観光学)	1.05	平成28年度		
観光経営学科	4	—	—	—	学士(観光学)	—	平成20年度		平成28年度より学生募集停止
地域再生学科	4	—	—	—	学士(観光学)	—	平成20年度		
教育学研究科							平成5年度	和歌山市栄谷930	
(修士課程)									
学校教育専攻	2	30	—	42	修士(教育学)	0.96	平成5年度		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士(教育学)	—	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
(専門職学位課程)									
教職開発専攻	2	15	—	15	教職修士(専門職)	1.00	平成28年度		
経済学研究科							昭和41年度	和歌山市栄谷930	
(修士課程)									
経済学専攻	2	15	—	30	修士(経済学)	0.89	昭和43年度		
経営学専攻	2	13	—	26	修士(経済学)	0.84	昭和43年度		
市場環境学専攻	2	10	—	20	修士(経済学)	0.85	平成11年度		
システム工学研究科							平成12年度	和歌山市栄谷930	
(博士前期課程)									
システム工学専攻	2	129	—	258	修士(工学)	1.01	平成12年度		
(博士後期課程)									
システム工学専攻	3	8	—	24	博士(工学)	1.24	平成14年度		
観光学研究科							平成23年度	和歌山市栄谷930	
(博士前期課程)									
観光学専攻	2	9	—	18	修士(観光学)	1.27	平成23年度		
(博士後期課程)									
観光学専攻	3	6	—	18	博士(観光学)	1.33	平成26年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・ ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経済学部 経済学科>

(1) 担当教員表

該当なし

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
23	26	1	1	51	27	25	1	1	54	23	25	1	1	50
(27)	(26)	(1)	(1)	(55)						[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
該当なし						
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし						
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)		
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当なし				

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<経済学部 経済学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div>
--	---

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年 6月 日予定)